



学校だより

浜小HP <http://www.ama-net.ed.jp/school/E15/index.html>

令和2年1月8日(水)
尼崎市立浜小学校
校長 中根 孝介
06-6499-1536



No.17



謹んで新年のご挨拶を 申し上げます

昨年は、浜小学校の教育推進のためにご理解とご協力をいただき、ありがとうございました。今年も昨年と変わらず、どうぞよろしくお願いいたします。

元号も新たに、令和2年を迎えました。今年も、2020東京オリンピック・パラリンピックの年でもあります。多くの選手が日本に集まり、素晴らしいパフォーマンスを見せてくれることと思います。選手のがんばりは、観戦している多くの人々にも夢や勇気を与えてくれます。

子どもたちも新年を迎え、新たな気持ちで学習や日々の生活に真正面から向き合い、大きな成長を遂げてくれることを願っています。失敗を恐れず、様々なことに粘り強く挑戦し、多くの体験や経験をしていくことで、一步一步着実にステップアップをしていくことを期待しています。

自分の願いや夢を達成するには、長期的な目標と短期的な目標を立て、具体的な行動目標を示し、継続して実行していくことが大切だとも言われています。「こうなりたい」「こんなふうになりたい」という夢や目標だけでなく、「そのために～をしていく」という具体的な行動に移していくことが大切です。夢を夢で終わらせないためにも、困難や失敗に負けず、根気よく取り組んでほしいと思います。

学校でも、子ども達の願いや夢、目標の実現のため、ねばり強く支援していきたいと思います。本年もご理解とご支援をよろしくお願いいたします。



子

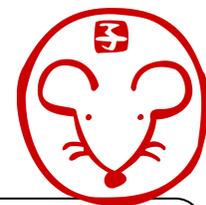
～干支(えと)のお話～

今年の干支は、「庚子(かのえね)」です。「子年」「ねずみ年」になります。干支(えと)は、正確には「十干十二支(じっかんじゅうにし)」と言います。「甲・乙・丙・丁・戊・己・庚・辛・壬・癸」の十干と「子・丑・寅・卯・辰・巳・午・未・申・酉・戌・亥」の十二支を組み合わせるので、60通りになります。

「十二支」の起源は、中国にあると言われていています。諸説ありますが、もともとは「子・丑・寅・卯・辰・巳・午・未・申・酉・戌・亥」という文字を使って、年や月日、方角、順序などを表すものとして使われていました。それをわかりやすく、おぼえやすいようにと、動物をあてはめたという説が多く残っています。この十二支の動物や順番の決まり方については、各地に民話などになって伝わっているものもあります。十二支は、国によっては違った動物が入っていたり、12の動物に選ばれなかった動物のお話があったりします。絵本や物語になっているものもあるので、一度、ご家庭でも、お子さんと一緒に読んでみるとおもしろいと思います。

「子年」の「子」の字は、もともと「増える」を意味する「孳(し)」からきていて、植物が子孫を増やそうと生長し始めるころの種子を表しているそうです。子孫繁栄を願ってこの字をあてたという説があります。「庚」は、両手で餅をつく杵を持ち上げる形を象形文字にしたもので、植物の生長がいったん止まって新たな形に変化しようとする様子を表しているそうです。

ちなみに、時刻を表す「子の刻」は、深夜0時を中心とする約2時間を、方角を表す「子の方」は、北の方角を示しています。



【外国の十二支】

	ね子	うし丑	とら寅	う卯	たつ辰	み巳	うま午	ひつじ未	さる申	とり酉	いぬ戌	い亥
日本	ねずみ鼠	うし牛	とら虎	うさぎ兎	りゅう龍	へび蛇	うま馬	ひつじ羊	さる猿	にわとり鶏	いぬ犬	いのしし猪
ベトナム	ねずみ鼠	すいぎゅう水牛	とら虎	ねこ猫	りゅう龍	へび蛇	うま馬	やぎ山羊	さる猿	にわとり鶏	いぬ犬	ぶた豚